血　製　第　４７　号
令和８年 10 月 29 日

一般社団法人
日本医療法人協会会長　様

日本赤十字社　血液事業本部長
（公印省略）

献血血液の研究開発等への使用に関する公募の実施について（令和９年度使用分）

平素より、日本赤十字社の血液事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

献血血液の研究開発等への使用については、「献血血液等の研究開発等への使用に関する指針」が廃止されたところですが、日本赤十字社では献血者の善意により得られた血液の有効利用等を鑑み、引き続き献血血液の研究開発等への使用に関する公募を実施しております。

今般、令和９年度の献血血液の研究開発等への使用を希望する者の公募を行うこととなりましたので、貴職におかれましては、貴機関内又は貴団体管下における血液製剤の安全性向上等に関する研究開発等に携わる関連団体に対し周知していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

１　公募期間（令和９年度使用分）について
令和８年 10 月 30 日（金）～令和８年 12 月 28 日（月）

２　献血血液の提供に係る費用について
本事業を継続的に実施するにあたり、使用目的に応じた費用を徴収しております。提供可能な血液の種類及び費用詳細については別紙をご参照ください。
なお、教育研修目的での使用につきましては、原則無償とさせていただいておりますが、報告時の成果等に疑義が生じた際は、別途費用を徴収させていただく場合がございます。

使用目的	譲渡費用	対象機関
教育研修目的 （教育目的の検査実習や輸血実習での使用）	無償	教育・医療機関
精度管理・研究目的	別紙のとおり	教育・研究機関等
その他の使用目的 （企業における商業目的及び研究目的の使用等）	別紙のとおり ＋追加作業費	その他の企業等

別紙

費用の徴収と血液の種類について

使用目的別に以下の費用を徴収します。

- 教育研修目的
  医療従事者等の教育により輸血医療及び血液事業の発展に大きく貢献することから原則無償とします。報告時の成果等で疑義が生じた際は、譲渡費用を徴収させていただく場合があります。
- 精度管理・研究目的
  下表の譲渡費用を徴収します。
- その他使用目的
  下表の譲渡費用及び血液譲渡の際に発生する追加作業（例：プール作業等）に応じた追加作業費を徴収します。

なお、提供できる血液の種類は下表のとおりです。

血液の種類		費用（税込）	1バッグあたりの量
血液製剤	全血	22円/mL	300mL程度
	赤血球	22円/mL	約280mL
	血漿	25円/mL	約240mL
	血小板	83円/mL	約200mL（10単位）
検査用検体の残余血液	全血	22円/mL	4mL程度（EDTA採血）
	血清	22円/mL	1.5mL程度（抗凝固剤無・分離剤有）
	血漿	22円/mL	1.5mL程度（EDTA採血・分離剤有）
その他	セグメント（全血）	22円/本	700μL程度
	セグメント（血漿）	25円/本	700μL程度
	セグメント（血小板）	83円/本	700μL程度
	白血球除去工程後のフィルター	836円/個	200mLまたは400mLの白血球がトラップされた状態
	保管年限（11年）を超えた調査用の血液	847円/本	4mL程度（凝固促進剤有・分離剤有）
	追加作業費	4円/mL	

※　フィルターの内容物に係る検討は行われていません。

※　ご希望の血液を提供できない場合があります。また、必要に応じ、ご希望とは異なる血液で代用することを協議させていただく場合もあります。

※　献血者個人の情報（性別、年齢、献血地域等）は提供いたしかねます。